



いちょう 神明を恐れ敬う心あれば日月の恵みのなどか無からん
——加藤重春 眼前神道案内大全

神さまは眼に見えないから、何をしてもかまわないという考え方では、信仰は成り立たない。それは、自分の心は、外から誰でも見える訳のものでないから、人をだましてやろう、と考えても、一向に差し支えないというのと同じである。
然し、自分の心だけは、人に見えなくても知っている。神も人の眼には見えなくても人間が何を考えているかは「見通し」でいられる。それ故、信仰で大切なことは、眼に見えない神に対して、「慎しみ」の心を以て、神を敬う心を忘れないようにして祈るならば、必ずや日月（神）のお恵みが、あなたの上にあること間違なしというのである。

加藤重春は江戸末期の神道家。眼前神道案内大全は、神道を通俗に説いたものである。岡田米男『神道百言』より

兼務神社めぐり
其の七

当八幡宮の兼務神社を
順次ご紹介いたします。

13 鹿嶋神社

（南区古淵一―三四―二三）

当神社の御祭神は「武甕槌命」タケミカズチノ神をお祀りしており、香取神社・稲荷神社を境内社としてお祀りしています。創建は定かではありませんが、聞き及んだ処によるとおよそ六九〇年前、鎌倉幕府は、時の執権北条氏の世であり、元弘三（二三三三）年、上野の国（現在の群馬県）の国主であった、源氏の流れを受け継ぐ新田（源・義貞公が後醍醐天皇より討幕の命を受け、現群馬県太田市の生品神社にて幕府討伐の旗揚げをし、多摩川を渡り鎌倉街道を南下してこの古淵の地に立ち寄り、大櫻・要石の前にて鹿嶋の御霊を祀り、戦勝祈願をしたと伝えられています。古文書によると天和年間に再建の記録があり、その後、寛延二（二七四九）年、文政二（一八一九）年に再建修復した記録があります。



明治三十四（一九〇二）年五月二十二日に不幸にも本殿が焼失してしまい、明治三十六（一九〇三）年に当時の大野村、氏子十八名と近隣神社の氏子の協力により再建され現在に至っております。緑に囲まれた閑静な場所にあるので、憩いの場所として地域の方々もよくお参りになり、例年八月には祭礼が行われます。

また、五月二十二日を「焼日祭」と言い、神社の清掃、御神酒

14

天縛皇神社

（中央区宮下本町三一―二三―一七）

一、創建と由来

天文元年（四八五年前）創建と伝えられており、明治二年の神仏分離令以前は祭神を帝釈天とし、本地十一面観音、牛頭天王が祀られていました。それ以降は伊邪那岐命、伊邪那美命が祀られています。

どうして天縛皇神社と言われるようになったのかと、時折話題になりますが、天白信仰からきているのではないかとと思われる。字体のみ天白から天縛に変更したと思われる。

神社の正式な名称や発音は「テンバク」ではなく「テンバク」で届出がされているようです。さらに天縛皇神社の皇は、天縛につける敬称・尊称の語であり皇室との関連はありません。現在から三百年程前の古絵図には、天縛

宮とあり、天白とは記入されてなく、その時期すでに天縛の文字が使用されていたこととなります。

二、石碑類

現存する最古の年号は、寛政六（一七九五）年、江戸中期のものであります。以前は井戸から水をくみあげ、参拝の際に入れておきひしゃくの水で手を清める盥漱（かんじゆ）がありました。

材質は御影石かと思われます。正面にある大願成就は仏教用語ですが、当時は神仏混淆の時代であったため、この四文字が使用されたと思います。

奉納御寶前の文字もあり、正面からですと右側面に寛政六年寅年、七月廿九日、左側面には、相州高座郡小山村、寄進者の氏名もあります。

三、例大祭

江戸時代から明治にかけては、旧暦で七月二十九日、新暦では現在の九月十二日に該当します。過去には四回ほど変更があり、昭和二十年頃から今の八月二十九日になりました。催し物は、奉納演芸大会を主とし、氏子衆の集まりから、神社の更なる発展に願いをこめております。

（水落眞平総代長寄稿）

平成30年 厄年表

男 性		
前 厄	本 厄	後 厄
平成7年生 24才	平成6年生 25才	平成5年生 26才
昭和53年生 41才	昭和52年生 42才	昭和51年生 43才
昭和34年生 60才	昭和33年生 61才	昭和32年生 62才
女 性		
前 厄	本 厄	後 厄
平成13年生 18才	平成12年生 19才	平成11年生 20才
昭和62年生 32才	昭和61年生 33才	昭和60年生 34才
昭和58年生 36才	昭和57年生 37才	昭和56年生 38才
昭和34年生 60才	昭和33年生 61才	昭和32年生 62才

ご案内

平成三十年節分祭

- 斎行日：平成三十年二月三日（土）
- 式典：午後三時
- 豆撒き師（年男・年女・厄年の人のご希望の方は、当八幡宮へお申し込み下さい。（当日も受付いたします））

第八回一心泣き相撲「亀ヶ池場所」

- 日時：平成三十年五月二十日（日）
- 午前九時半開場
- 会場：亀ヶ池八幡宮境内
- 応募資格：首のすわった生後六ヶ月位から二歳半位までの男女児
- 参加費：一三、〇〇〇円（四股名兜・一升餅担ぎ・福引・祈禱料・御守・その他含む）
- 募集人数：百五十名
- 募集期間：平成三十年一月十五日より五月十日まで
- 申込・問合せ：Webサイト（http://www.naksumo.jp）からお申し込み下さい。

第四回稚児行列

- 日時：平成三十年七月一日（日）
- 午前十時（午前九時集合）雨天決行
- 会場：亀ヶ池八幡宮境内
- 参加年齢：満四歳から満七歳（定員七十名）
- 参加費：一三、〇〇〇円（祈禱料・御守・おみやげ・レンタル稚児衣装・足袋・ぞうり・着付料・集合写真代すべて含む）
- 申込締切：平成三十年六月二十四日（日）

夏越大祓式茅の輪くぐり神事

- 斎行日：平成三十年七月一日（日）
- 式典：午後三時
- 半年の罪穢を人形に移し清めて、心身共に蘇るお祭りです。お申し込みは、当八幡宮までご連絡下さい。（当日も受け付けいたします）



相模原支部 祭式研修会開催

昨年10月4日、神奈川県神社庁相模原支部「祭式研修会」が当八幡宮儀式殿にて行われました。

祭式研修会とは、神職が日頃の作法や着装等を正すための研修で、県内各所で行われています。今回、相模原支部では初めて祭式研修会を実施しました。講師には神奈川県神社庁祭式講師である笠程稲荷神社宮司・小野和伸先生をお招きし、当八幡宮からは宮司以下職員、また支部内外の神職も参加し13名にて開催されました。

今回は基本作法と衣紋を講題として、午前中は基礎の動作を確認・復習し、午後からは正服の着装を研修しました。受講生一同、小野先生の丁寧かつ熱心な指導を真摯に聴講、実践していました。



新水舎 御造営奉賛のお願い



天皇陛下御即位
三十年記念

この度、天皇陛下御即位三十年を寿ぎ、記念事業として「新水舎」を建築いたすことと相成りました。
新水舎は、神社に参拝する際、先づはじめに身を清めるために手水を行う所で、神社施設として極めて重要な建物の一殿であります。

つきましては、氏子崇敬者皆様方には何卒趣旨にご賛同下さいまして、左記により、赤誠溢れる御浄財を賜りたく伏してお願い申し上げます。

平成三十年一月吉日

亀ヶ池八幡宮 宮司 根岸信行

一、工事期間：平成三十一年二月着工
同年六月竣功予定
一、募財目標額：三千五百万円
一、御奉賛金額：一口金一萬円
何口でも結構でございます。皆様心あたたかなご奉賛をお願いいたします。
一、お申込み方法：ご奉賛ご協力頂きます方は当八幡宮社務所に用意しております申込書にご記入の上、奉賛金を添えてお申込み下さい。

年頭のご挨拶

宮司 根岸信行



明けましておめでとうございます。平成三十一年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

皇室におかれましては、天皇陛下には御即位三十年の佳節を迎え益々ご壮健にてお過ごしのこと至極大慶に存じ上げます。また秋篠宮家におかれましては、昨

年九月三日にご長女の眞子内親王殿下が大学の同級生・小室圭さんとのご婚約内定が報じられ、世間は祝福ムード一色になり、本年十一月四日にご結婚されること慶賀に存じ上げます。

更に国内での喜ばしきことは、最年少棋士・藤井聡太四段(十四歳)が歴代単独一位となる二十九連勝を成し遂げ、また陸上男子百米で、日本人として初めて桐生祥秀選手が十秒の壁を破る九秒九八の記録をマークするなど、若者の活躍が国民に勇気と希望を与えてくれました。当八幡宮におきましては、相模原市指定

例大祭斎行



平成29年

昨年は、5月上旬に夏を思わせるような気温を記録し、夏の猛暑を予感させられましたが、その後は地球温暖化の影響でしょうか、夏らしい気候が続き、8月中旬頃より特に相模原市内の神社の例祭が行われる土・日曜日には雨天の日が続くなど異常気象に見舞われました。当八幡宮の例大祭も生憎急に発達し関東を直撃した台風により、恒例の少年剣道大会、神楽殿における里神楽や奉納演芸大会等の神賑行事は中止せざるを得なくなりました。

例大祭の祭典には、献幣使として神奈川県神社庁理事・箱根神社宮司小澤修二氏の参向のもと、神社本庁からの帛料は肅々と御神前に献備され、国家安泰・皇室の安寧、氏子崇敬者の御多幸、また五穀豊穰を祈願し厳修に斎行されました。



有形文化財である旧本殿を移築し、新たに亀八招福稲荷神社としてお祀りし、昨年二月初午祭の時には、赤誠あふれるご浄財を賜わり完成した石玉垣の竣功式と祭典を斎行し、多くの奉賛者並びに崇敬者の参列を頂きましたこと有難く篤く御礼申し上げます。そして同年秋には、赤鳥居並びに春日灯籠の建立を致しましたところ、早

相模原市
氏子総代会

神社参拝研修旅行実施

当八幡宮で事務局を務める相模原市氏子総代会主催の神社参拝研修旅行が昨年十一月二十四日快晴のもと管内総代並びに神職約四十名が参加し実施されました。由緒ある神社を正式参拝し、神社総代等の親睦・連携を深めながら自ら奉仕する神社に、研修で得たものを活かすべく毎年行われる恒例行事であり、当八幡宮からも宮司・神職、総代が参加しました。

今年は神奈川県神社庁設立七十周年記念事業として庁舎が建て替えられており、五月に竣工なった神社庁舎を見学し、日頃馴染みがあり、知らない神社がどういう機関かを知り、良い機会となりました。

神社庁神楽殿にて当八幡宮総代長である清水亨総代会長に合わせ参拝したのち、

速にもご奉賛を賜りましたこと重ねて深く感謝申し上げます。さて、今年の干支は戌年です。犬は人との付き合いも古く、親しみ深く社会性があり、忠実な動物です。平成三十年の節目の年にあたり、犬にあやかっつて勤勉努力を積み重ねて、明るい社会の醸成に努めたいものです。

神杜庁土岐淳参事に新庁舎建設の背景や意匠の工夫など丁寧にご説明を戴きました。



続いて、関東のお伊勢さんとして天照皇大神をお祀りする横浜市西区宮崎町鎮座の伊勢山皇大神宮を正式参拝いたしました。御鎮座百五十年を記念して様々な事業が行われており、そのひとつとしてこの度神楽殿が建設され、その真新しい神楽殿にて正式参拝をし、引き続き池田正宏宮司により、由緒や各所に設けられた美術、工芸品等について丁寧なご説明を戴きました。

根岸千恵子 権禰宜 上川陽子法務大臣より 感謝状を授く



当八幡宮根岸千恵子権禰宜が神奈川県医療少年院の教師として二十余年に亘り、院生の教化指導にあたり、その功績を讃えられ、昨年八月二十九日、法務省にて上川陽子法務大臣より感謝状が授与され、教師を代表して壇上にて拝受いたしました。根岸権禰宜は「今後一層の教師活動に精励し、少年たちの更生や社会復帰への道が開かれるよう精進したい」と話していました。



福田満理 権禰宜 神職身分二級昇級



この度、当八幡宮福田満理権禰宜が神職身分「二級」に昇級され、昨年二月に神奈川県神社にて伝達式が行われました。

福田権禰宜は平成八年に当八幡宮の権禰宜を拝命し、神明奉仕に務め、かつ神奈川県神社庁の祭祀舞講師として県内神職に神前舞等の指導に努めています。今後、中堅神職として斯界の発展に一層貢献することが期待されています。

亀八招福稲荷神社 赤鳥居・春日燈籠奉納御礼報告



●赤鳥居
株式会社坂本企画
三晃トラスト株式会社
医療法人社団徳寿会相模原中央病院
石井 正彦
金谷 幸江
●春日燈籠
谷口 直則
星野 玉
吉川知恵子
山本 清
ライズ工業有限公司
有限会社仙龍電設
(敬称略・順不同)



平成二十九年四月二十九日竣功奉告祭が行われた赤鳥居、並びに八月に竣功した春日燈籠の建立にご奉賛賜りました貴家並びに貴社の彌栄を祈念し感謝申し上げます。御芳名を左記に掲載させて頂きました。当八幡宮にお越しの際には是非この赤鳥居をくぐり、春日燈籠をご覧戴きながら亀八招福稲荷神社にご参拝下さい。

尚、引き続き春日燈籠のご奉賛を承っておりますので、ご奉賛ご希望の方は、当八幡宮社務所にお申込み下さい。